

令和 6 年 4 月 3 0 日

名張市議会議長

永岡 禎 様

会 派 名 日本共産党

経理責任者 藤川 美広

政務活動費収支報告書

名張市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、次のとおり
令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 960,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	36,302	視察旅費・交通費等
研 修 費	58,100	研修会参加費
広 報 費	87,376	会派広報
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	83,322	コピー用紙代・インク代等
資 料 購 入 費	56,910	書籍・新聞購読料等
そ の 他 経 費	50,640	タブレット端末通信使用料等
合 計	372,650	

3 残 額 587,350円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。



様式E（マニュアル様式）

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度： 令和5年度

項目	調査研究費 ・ 研修費 ・ 広報費 ・ 広聴費 ・ 要請陳情活動費 ・ 会議費 資料作成費 ・ 資料購入費 ・ その他経費 （該当科目に丸をつけてください）
----	--

領収書等添付

視察旅費等 35,161 円
手土産代 1,141 円
＜詳細別紙 5 枚＞

合計金額

36,302 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

旅費計算書

会派	日本共産党				代表者名		三原 淳子			
氏 名	三原 淳子									
場 所	坂出市立病院、市立芦屋病院									
実施日	令和5年8月2日(水) ～ 令和5年8月3日(木)									
旅 費	35,161 円 (@ 35,161 × 1 名)									
月 日	発着	路 程	距離	運賃	特別急行料	小 計	日 当	宿泊費	朝食費	夕食費
8月2日	名張駅 鶴橋駅	近鉄	66.1km	1,210	920	2,130	2,600	7,300	込	1,700
	鶴橋駅 大阪駅	JR	7.7km	4,290		4,290				
	大阪駅 新大阪駅	JR	3.8km	↓						
	新大阪駅 岡山駅	新幹線	180.3km	↓	3,380	3,380				
	岡山駅 坂出駅	JR	50.5km	↓	530	530				
8月3日	宿泊施設 坂出駅	タクシー		181		181	2,600			
	坂出駅 岡山駅	JR	50.5km	4,290	530	4,820				
	岡山駅 西明石駅	新幹線	120.6km	↓	3,060	3,060				
	西明石駅 芦屋駅	JR	36.7km	↓						
	JR芦屋 芦屋病院前	バス	3.1km	220		220				
	芦屋病院前 JR芦屋	バス	3.0km	220		220				
	芦屋駅 大阪駅	JR	19.2km		坂出～大阪市内 JR乗車券料金					
	大阪駅 鶴橋駅	JR	7.7km	↓						
	鶴橋駅 名張駅	近鉄	66.1km	1,210	920	2,130				
計						20,961	5,200	7,300		1,700
精算額	概算額	戻入額				合計 (円/1名)	35,161			

過不足の理由

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度：

令和5年度

項 目 **調査研究費** ・ 研修費 ・ 広報費 ・ 広聴費 ・ 要請陳情活動費 ・ 会議費
資料作成費 ・ 資料購入費 ・ その他経費 (該当科目に丸をつけてください)

領収書等添付

No. 1066
日付 2024年08月05日
車番 000243 800
基本運賃 ¥990円
迎車料金 1170 ¥100円
合計 ¥1090円
上記の通り領収致しました。
毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物・お問い合わせは下記までご連絡下さい。
SMILE スミレタクシー株式会社
番川県坂出市紫港町1丁目8-54
本社 0877-44-2000

旅費計算にて
計上済み

タクシー代 (8月3日 宿泊施設→坂出駅)
内 日本共産党 分 181円

領 収 証

名張市議会 日本共産党 様

No. 2023年7月25日

金額 ¥23,380-

但し 交通費・宿泊代金にて
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

JTB 総合提携店
(株) 三重旅行サ

伊賀上野店 ☎0595-26-0211 名張店 ☎0595-21-2917

合計金額

円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。
※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度：令和5年度

項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費	(該当科目に丸をつけてください)
----	--	------------------

領収書等添付

領 収 書

No.20421030

Receipt

日本共産党様

領収年月日 2023. 7. 26
金 額 ￥2,130-

上記金額確かに領収いたしました

購入商品

乗車券等

Tickets

近畿日本鉄道株式会社

23- 7-26 09:28:11 名張204

印紙税申告納
付につき天王寺
税務署承認済

領 収 書

674761

日本共産党様

金 額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					7	2	1	3	0

ただし 乗車券類代として

上記の金額を領収いたしました。

2023. 8. 3 日

近畿日本鉄道株式会社

収 入
印 紙

取扱者

鶴 橋 駅 発行

旅費計算書にて計上済み

合計金額

円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度：令和5年度

項目	調査研究費 ・ 研修費 ・ 広報費 ・ 広聴費 ・ 要請陳情活動費 ・ 会議費 資料作成費 ・ 資料購入費 ・ その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
領収書等添付	

領 収 証

名張市議会

有志

様 No.

★ ￥6,848-

内 訳	
現金	
小切手	/
手 形	/
(10%)	
消費税額	
(8%)	

但 名張市議会 @2,500- x2 送料 @1,034 x1 @814-x1

令和5年8月2日 上記正に領収いたしました

収入印紙

一般社団法人 名張市観光協会

会長 玉置 英治

行政視察手土産代 (8月2日 坂出市立病院 ・ 8月3日 市立芦屋病院)

内 日本共産党 分 1,141円

合計金額

円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。
※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度： 令和5年度

項 目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
--------	--

領収書等添付

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
05-07-26	22143	通帳電信振替
記号	番号	
*****	*****7001	
取扱番号	お取引金額	
N102	*15,000	
	残高	
	*6	
振替先		
受取人名:	セイカツボウ モンターイギイ ンケンシュウカイ	
料金	*100円 /	
依頼人名:	113 フジカワ ヨシヒロ	
ゆうちょデビット 新規ご入会& ご利用で現金500円プレゼント!		
ご利用いただきましてありがとうございます。		
—— ゆうちょ銀行 ——		

研修参加費 15,000 円
振込手数料 100 円

合計金額	15,100 円
------	----------

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。
※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

領収証

2023年7月26日

日本共産党

様

以下のとおり、領収いたしました。

¥15,000 -

但し、第14回生活保護問題議員研修会について

■ 研修参加費として（資料代を含む）

113

生活保護問題対策全国委員会

大阪市北区西天満3-14-16西天満パークビル3号館7階

あかり法律事務所内

代表幹事 尾藤廣喜

全国公的扶助研究会

東京都文京区白山1-1-1アクア白山ビル5階

会長 吉永純

（研修会事務局）

〒530-0047大阪市北区西天満3-14-16西天満パークビル3号館7階 あかり法律事務所 弁護士 小久保哲郎

電話 06-6363-3310/seihokaigi@gmail.co.jp

8月2日(水)

①基調講演 13:00～15:00

今こそ、生活保護をあたり前の権利に!

②講座A 16:00～18:00

大学、専門学校(看護学校等)への進学は資格ですか

8月7日(月)

③講座B 13:00～15:00

「生活保護と自動車保有」の意味を考える

④講座C 16:00～18:00

モノ言う議員へのバッシングに抗して

8月10日(木)

⑤講座D 13:00～15:00

生活保護基礎講座+なんでもQ&A

⑥講座E 16:00～18:00

より良い生活保護行政をめざす自治体の取組みに学ぶ

8月19日(土)

⑦特別企画 13:30～16:00

今こそ、「生活保護法」から「生活保障法」へ

【参加費】

■地方議員

- I 通し券 1万5000円
全ての企画・講座を自由に受講可能です。全体資料付き。
- II 1回券 3000円

①～⑦の講座・企画のうち1つが受講可能です。

資料は、紙でなくPDFデータで提供します。

- III 全体資料 1000円 (紙でなくPDFデータで提供します)

■一般(学者・法律家・その他)

- I 通し券 1万円
- II 1回券 ①～⑥3000円/⑦1000円

資料は、紙でなくPDFデータで提供します。

- III 全体資料 1000円 (紙でなくPDFデータで提供します)

【参加のお申込み】

下記のURL又はQRコードから入カフォームに入力してください。

問合せ先 seihokaigi@gmail.com

申込フォーム <https://pro.form-mailer.jp/lp/d32f3c1e221548>

※締切:各講座1週間前まで。(但し、通し券参加あるいは全体資料の注文は、なるべく7月26日までをお願いします。)



第14 回生活保護問題議員研修会

地方から 生活保護を あたり前の権利に



コロナ禍による生活困難に物価高が追い打ちをかけているのに、忌避感などから生活保護の利用に結びつかない状況が続いています。一方、司法の場では、保護基準下げの違法性を認める判決が相次ぐなど前向きな成果が見られます。最新の情報を共有し、地方から、生活保護をあたり前の権利にしていいため、本研修会に多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

8月2日(水)・7日(月)・10日(木)完全オンライン(Zoom)
8月19日(土)ハイブリッド(リアル+zoom)

※8月19日のリアル会場は、CIVI研修センター新大阪東(定員先着50名)です。

共催：生活保護問題対策全国会議・全国公的扶助研究会

8月2日(水)

①基調講演(13:00~15:00) 今こそ、生活保護をあたり前の権利に!

コロナ禍による生活困難が増えない中、物価急騰が市民生活を襲っています。一方、司法の場では、2013年からの保護基準引下げの取消しを認める判決が相次ぎ、生活保護世帯・若者の学ぶ権利や自動車を持つ権利をめぐって前向きな判断が出るなど、憲法25条を生かす市民の反響が成果をあげています。こうした情勢の下での議員活動のあり方を考えます。

吉永 純さん 花園大学教授、全国公的扶助研究協会会長、福祉事務所 24 年、ケースワーカー 12 年の経験を生かし、貧困と生活保護について研究。

②講座A(16:00~18:00)

大学、専門学校(看護学校等)への進学は賛成ですか

大学や専門学校を合わせた進学率は80%を超えています。生活保護世帯の若者は進学すると保護が廃止され、生活費や学費を自力で賄わなければならない。虐待を受け、親からの支援がなくても、休学しない生活保護は助けてくれません。一方で、多少でも給付は元の世帯の収入とみなされ、保護が廃止された世帯は額利となっています。生活保護と若者の学ぶ権利について考えます。

横井 啓太さん 立命館大学准教授、神戸市でケースワーカー等 10 年間従事し、名古屋市立大学准教授を経て現職。専門は貧困、生活保護。

飛田 桂さん 弁護士、東京大学 (現行政法) 正名法政大学准教授を経て現職。専門は貧困、生活保護。

高木 百合香さん 弁護士、東京大学 (現行政法) 正名法政大学准教授を経て現職。専門は貧困、生活保護。

修さん (匿名) 生活保護世帯から進学した大学生、自身の経験をもとに生活保護の運用を求める活動をしている。

田中 伸二さん 弁護士、山形県で生活保護ケースワーカー経験があり、現在は仙台で弁護士として生活保護利用者の支援に当たっている。

【進行】太田 伸二さん 東北生活保護利用支援ネットワーク事務局次長。

8月7日(月)

③講座B(13:00~15:00)

「生活保護と自動車保有」の意味を考える

三重県鈴鹿市が自動車利用を理由として2世帯の生活保護停止を行い、訴訟になっています。また、厚労省も自動車の利用目的を制限する事務連絡を出すなど、自動車保有に逆風が吹いています。今こそ、自動車保有がどのような意味を持っているのか、それをどう後押ししていくべきか、考えたいと思います。

芦葉 南さん 弁護士、四日市インスリン事件の生活保護事件を提起。鈴鹿市自動車保有事件の弁護団でも主任を務めている。

鈴鹿市自動車保有禁止事件原告の方

長谷 葵史さん 和歌山生活保護サポートセンター代表。医療相談を担う。法人内閣宅支援事業所の理事長も兼任。社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士。

太田 伸二さん 弁護士、山形県で生活保護ケースワーカー経験があり、現在は仙台で弁護士として生活保護利用者の支援に当たっている。

【進行】太田 伸二さん 東北生活保護利用支援ネットワーク事務局次長。

④講座C(16:00~18:00)

モノ言う議員へのバッシングに抗して

生活保護の申請時の面談を禁止する議会の申し合せについて質問した議員への出席停止処分の執行や、市教養後援の講演会で司会をした議員への嫌がらせなど、議員として当然の行動へのいじめや嫌がらせが横行しています。議会の懲罰問題での初の実例調査 (朝日新聞) を踏まえ、その背景と対応方法を考えます。

青木 恒子さん 奈良県奈良市議会議員 (1 期目、日本共産党)。生活保護の議員同僚間の質問が免職で議員への出席停止処分を要し、現在裁判中。

古川 雅明さん 弁護士、香川県市議会議員 (2 期目、無所属)。議員の司会を要したことを契機に議決文を送りつけられる等の被害にあったが、闘うことなく関係を断っている。

村上さとことさん 北九州市議会議員 (2 期目、無所属)。議員の司会を要したことを契機に議決文を送りつけられる等の被害にあったが、闘うことなく関係を断っている。

山下 寛久さん 【新聞による報告】 朝日新聞記者、佛島市議員 (2 期目、無所属)。21 年にはリコール署名活動事件も取材した。

吉永 純さん 花園大学教授、全国公的扶助研究協会会長、福祉事務所 24 年、ケースワーカー 12 年の経験を生かし、貧困と生活保護について研究。

8月10日(木)

⑤講座D(13:00~15:00)

生活保護基礎講座+なんでもQ&A

生活保護の運用を知り尽くした講師陣による定番の初級講座。生活保護とはどのような制度なのか、各自治体の保護行政が正しく運用されているのかのチェックポイントや、扶養親族や申請権保護など、地域の生活保護を真の権利とするために議会で質問していただく効果的な質問項目を概説し、皆さまの質問にも回答します。

谷口 伊三美さん 社会福祉士、大阪府で長年、生活保護業務を担当。退職後は依存症回復支援施設でスタッフや専門学校の講師。

小久保 哲郎さん 弁護士、生活保護問題対策全国協議会事務局長。大阪で生活保護利用者をはじめとする生活困窮者の相談や裁判に関与してきてきた。

田川 美穂さん 社会福祉士、生活保護問題対策全国協議会事務局次長、元世田谷区の生活保護担当。

⑥講座E(16:00~18:00)

より良い生活保護行政をめざす自治体の取り組みに学ぶ

生活保護の申請が権利であることを知らせるチラシを全戸配布した京丹後市、生活保護の支給漏れなど不正事務処理の検証から大きく運用の改善を図った国立市など先進自治体の取り組みに学ぶとともに、県下全自治体の「保護のしおり」を利用者目線でチェックし改善を進める民間の活動を紹介します。より良い生活保護行政をどうつくるかを考えます。

藤村 貴俊さん 京丹後市健康福祉課生活保護課長。2006 年から現職で生活保護ケースワーカー、生活困窮自立支援制度、現在は重要行政支援体制や地域福祉計画を担う。

左川 倫己さん 国立市健康福祉課生活保護課長。平成 20 年国立市入職、ケースワーカー、審査員を経て現職。

赤山 恭子さん 前橋市健康福祉課生活保護課長。奈良市で生活保護ケースワーカー、審査員を経て現職。奈良市の生活保護行政をよくする会事務局、社会福祉士、精神保健福祉士。

吉永 純さん 花園大学教授、全国公的扶助研究協会会長、福祉事務所 24 年、ケースワーカー 12 年の経験を生かし、貧困と生活保護について研究。

8月19日(土)

リアル会場はCIVI研修センター新大阪にて
先着 50 名定員

⑦特別企画(13:30~16:00) 今こそ、「生活保護法」から「生活保障法」へ

史上最大の保護基準引下げの通法を認める司法判断が相次ぐ一方、どれだけ生活に困っても「生活保障」だけは受けたくないという市民意識はなかなか変わりません。こうした状況を打破するためには、今こそ、「生活保障法」を権利性の明確な「生活保障法」へと改正することが必要です。当事者の声を聞き、生活困窮者支援の最前線からの報告を踏まえて、今何が求められているかを皆さんとともに考えたいと思います。

※生活保障問題対策全国会議の第 17 回設立記念会を兼ねるので一般の方も参加されます。

森 絹子さん (生活保障基準引下げ訴訟原告)

Aさん (三重県鈴鹿市自動車保有禁止訴訟原告)

伊さん (生活保障世帯から進学した大学生)

報告とパネルディスカッション

コロナ禍であらわになった貧困の実情と生活保障制度の課題

瀬戸 大作さん (一般社団法人民間ネットワーク事務局) 寺内 順子さん (一般社団法人シママ大阪は運動会事務局)

いのちのとりで裁判の到達点と意義

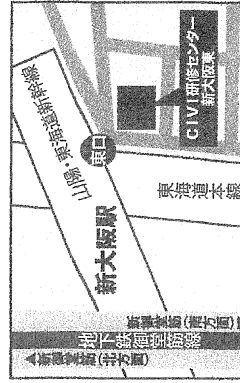
尾藤 廣喜さん (生活保障基準引下げCNO! 全国争訟ネット共同代表)

リアル会場
CIVI研修センター新大阪E604 号室

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1 丁目 19-4
LUCID SQUARE SHIN-OSAKA (ルーシッドスクエア新大阪) 6 階

JR「新大阪」駅より徒歩 5 分、大阪メトロ御堂筋線「新大阪駅」から徒歩 5 分

<https://www.civi-c.co.jp/access.html#higashi>



様式E（マニュアル様式）

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度： 令和5年度

項 目	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費（該当科目に丸をつけてください）
領収書等添付 （藤川分） 研修参加費 19,000 円 テキスト代 2,500 円 <詳細別紙 2 枚>	
合計金額	21,500 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

2023年4月27日

領収証

日本共産党 様

¥19,000-(税込)

但し、第62回市町村議会議員研修会 Zoom (2023/5/11,12) 参加費として
上記正に領収いたしました。

参加講義：講義1・参加／講義2・参加／講義3・参加

受講者ご氏名：藤川美広様 受付番号：(62B3)

株式会社自治体研究社

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階

電話番号 03-3235-5941

2023年4月27日

領収証

日本共産党 様

¥2,500-(税込)

但し、第62回市町村議会議員研修会 Zoom (2023/5/11,12) テキスト代と送料(400円)として
上記正に領収いたしました。

テキスト名：人口減少時代の自治体政策 市民共同自治体への展望 (1,100円) 1冊

医療DXが社会保障を変える (1,000円) 1冊

株式会社自治体研究社

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階

電話番号 03-3235-5941

第62回

(オンライン) 市町村議会議員研修会 zoom開催

■ 2023年5月11日(木) 10:00~12:00

第1講義

自治体をめぐる状況と自治体政策の焦点、統一地方選挙結果を踏まえて

講師 中山 徹 (奈良女子大学教授)

全世代型社会保障、公共施設等総合管理計画、デジタル田園都市国家構想など、自治体に大きな影響を与える様々な施策が動いています。どのような施策が展開されているのか、それらが自治体にどのような影響を与えるかを概観します。また、少なくとも自治体が学校・保育所の統廃合、敬老パスの縮小などを進めながら、大型開発を進めようとしています。自治体は今、どのような施策を展開すべきかを考えます。

テキスト：中山 徹著『人口減少時代の自治体政策—市民共同自治体への展望』税込特価 1100 円

中山 徹ほか著『デジタル化と地方自治のゆくえ』(近刊)



■ 2023年5月12日(金) 10:00~12:00

第2講義

全世代型社会保障構築政策と地域医療構造の再編

- ①全世代型社会保障構築政策のポイントと自治体への影響
- ②新たな地域医療構想が目指す医療提供体制の再編
- ③医療 DX のねらいと現状、背景

講師 寺尾正之 (日本医療総合研究所・研究・研修委員)

①では、全世代型社会保障構築の「基本的考え方」や「社会保障 DX」政策などのポイントと自治体への影響を解説します。②では、かかりつけ医機能の制度整備や外来医療を含めた「新たな地域医療構想」の策定、医療費適正化計画の新たな政策ツールなど、医療提供体制再編の全体像と自治体の課題を解説します。③では、健康保険証の廃止と「マイナ保険証」の資格確認システムの拡張が一体で進められ、「全国医療情報プラットフォーム」の構築と医療情報の2次利用の実現を目指している医療 DX のねらいと現状、その背景を解説します。

テキスト：稲葉一将・松山 洋・神田敏史・寺尾正之著『医療 DX が社会保障を変える—マイナナンパ—制度を基盤とする情報連携と人権』税込特価 1000 円



■ 2023年5月12日(金) 13:00~15:00

第3講義

全世代型社会保障と介護保険制度改革—介護保険制度をめぐる動向と今後の課題

- ①介護保険のなりたちとこれまでの経過
- ②全世代型社会保障改革が進める介護保険の見直し
- ③「人権としての介護保障」実現に向けて

講師 林 泰則 (全日本民主医療機関連合会・事務局次長)

介護保険制度は今年施行 23 年目を迎えました。利用者が増加の一途をたどる一方、様々な困難が広がり続けています。経済的事情で必要なサービスを利用できないケース、「介護心中・介護殺人」と称される痛ましい事件。介護事業所では、慢性的な人手不足と厳しい経営難が常態化しています。その背景には、①介護保険が利用を抑制する様々な仕組みが最初から組み込まれて設計され、施行後の制度の見直しによって矛盾や困難が増幅してきたことがあります。②現在、全世代型社会保障改革のもとで介護保険の見直しが進められています。これらの点をふまえ、③求められる介護保障の在り方について検討します。



様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：日本共産党

報告年度： 令和5年度

項 目	調査研究費 ・ 研修費 ・ 広報費 ・ 広聴費 ・ 要請陳情活動費 ・ 会議費 資料作成費 ・ 資料購入費 ・ その他経費 (該当科目に丸をつけてください)
領収書等添付	
(三原分) 研修参加費 19,000 円 テキスト代 2,500 円 <詳細別紙 2 枚>	
合計金額	21,500 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

2023 年 4 月 27 日

領 収 証

日本共産党 様

¥19,000-(税込)

但し、第 62 回市町村議会議員研修会 Zoom (2023/5/11,12) 参加費として
上記正に領収いたしました。

参加講義：講義 1・参加 / 講義 2・参加 / 講義 3・参加
受講者ご氏名：三原淳子様 受付番号：(62B4)

株式会社自治体研究

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4 階

電話番号 03-3235-5941

2023 年 4 月 27 日

領 収 証

日本共産党 様

¥2,500-(税込)

但し、第 62 回市町村議会議員研修会 Zoom (2023/5/11,12) テキスト代と送料 (400 円) として
上記正に領収いたしました。

テキスト名：人口減少時代の自治体政策 市民共同自治体への展望 (1,100 円) 1 冊
医療 DX が社会保障を変える (1,000 円) 1 冊

株式会社自治体研究

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4 階

電話番号 03-3235-5941

(オンライン) 市町村議会議員研修会

■ 2023年5月11日(木) 10:00~12:00

第1講義

自治体をめぐる状況と自治体政策の焦点、統一地方選挙結果を踏まえて

講師 中山 徹 (奈良女子大学教授)

全世代型社会保障、公共施設等総合管理計画、デジタル田園都市国家構想など、自治体に大きな影響を与える様々な施策が動いています。どのような施策が展開されているのか、それらが自治体にどのような影響を与えるかを概観します。また、少なくとも自治体が学校・保育所の統廃合、敬老パスの縮小などを進めながら、大型開発を進めようとしています。自治体は今、どのような施策を展開すべきかを考えます。

テキスト：中山 徹著「人口減少時代の自治体政策—市民共同自治体への展望」税込特価 1100 円

中山 徹ほか著「デジタル化と地方自治のゆくえ」(近刊)



■ 2023年5月12日(金) 10:00~12:00

第2講義

全世代型社会保障構築政策と地域医療構造の再編

- ①全世代型社会保障構築政策のポイントと自治体への影響
- ②新たな地域医療構想が目指す医療提供体制の再編
- ③医療 DX のねらいと現状、背景

講師 寺尾正之 (日本医療総合研究所・研究・研修委員)

①では、全世代型社会保障構築の「基本的考え方」や「社会保障 DX」政策などのポイントと自治体への影響を解説します。②では、かかりつけ医機能の制度整備や外来医療を含めた「新たな地域医療構想」の策定、医療費適正化計画の新たな政策ツールなど、医療提供体制再編の全体像と自治体の課題を解説します。③では、健康保険証の廃止と「マイナ保険証」の資格確認システムの拡張が一体で進められ、「全国医療情報プラットフォーム」の構築と医療情報の2次利用の実現を目指している医療 DX のねらいと現状、その背景を解説します。

テキスト：稲葉一将・松山 洋・神田敏史・寺尾正之著「医療 DX が社会保障を変える—マイナナンバー制度を基盤とする情報連携と人権」税込特価 1000 円



■ 2023年5月12日(金) 13:00~15:00

第3講義

全世代型社会保障と介護保険制度改革—介護保険制度をめぐる動向と今後の課題

- ①介護保険のなりたちとこれまでの経過
- ②全世代型社会保障改革が進める介護保険の見直し
- ③「人権としての介護保障」実現に向けて

講師 林 泰則 (全日本民主医療機関連合会・事務局次長)

介護保険制度は今年施行 23 年目を迎えました。利用者が増加の一途をたどる一方、様々な困難が広がり続けています。経済的事情で必要なサービスを利用できないケース、「介護心中・介護殺人」と称される痛ましい事件。介護事業所では、慢性的な人手不足と厳しい経営難が常態化しています。その背景には、①介護保険が利用を抑制する様々な仕組みが最初から組み込まれて設計され、施行後の制度の見直しによって矛盾や困難が増幅してきたことがあります。②現在、全世代型社会保障改革のもとで介護保険の見直しが進められています。これらの点をふまえ、③求められる介護保障の在り方について検討します。

